



www.hcs.tsukuba.ac.jp

筑波大学大学院人間総合科学研究科 ヒューマン・ケア科学専攻
Doctoral Program in Human Care Sciences

〒305-8577 茨城県つくば市天王台1-1-1

筑波大学体育芸術エリア支援室

大学院教務

Tel.029-853-2575



【連携】



国立保健医療科学院
National Institute of Public Health

〒351-0197 埼玉県和光市南2-3-6



筑波大学
University of Tsukuba

連携大学院 博士(公衆衛生学)プログラム

筑波大学大学院 人間総合科学研究科
ヒューマン・ケア科学専攻
(3年制博士課程)
Doctoral Program in Human Care Sciences



博士(公衆衛生学)プログラム

健康問題の解決に貢献する学術・応用研究と
実践部門のリーダーとなる人材を養成します。

目 的

世界最速のスピードで少子高齢化が進行する我が国は、人類が未経験の多様な健康問題に直面しています。これらの問題には、保健医療のみならず人々の心理・行動・社会環境が関係し、また国境を越えて地球規模で展開するため、問題解決に向けてさまざまな分野や機関の学際的・国際的連携が不可欠です。この社会的要請にこたえるべく、高度な公衆衛生専門家を養成することを目的として、筑波大学と国立保健医療科学院の連携大学院方式による国立大学法人初の学際融合の博士（公衆衛生学）学位プログラムを実施します。

養成する人材

本プログラムでは、公衆衛生大学院教育の国際基準に準拠した専門的知識に加えて、運動スポーツ・心理・教育など健康問題にかかわる心理行動社会的要因についての学際的知識と研究教育能力を十分に兼ね備えた、公衆衛生の学術・応用研究と実践部門のリーダーとなる人材を養成します。

特 長

- 学位「博士(公衆衛生学)」『Ph.D. in Public Health』
- ヒューマン・ケア科学専攻は、医学医療系・体育系・人間系の3つの系（教員組織）の教員で構成される学際融合専攻で、医学、保健学、体育学、教育学、心理学などを包括的にカバーしています。
- 週末にも一部授業を開講して、現職社会人に配慮したカリキュラムとしています。また、長期履修制度もあります。

修了後の進路

- 公衆衛生学の専門教育研究者、保健医療福祉行政官、医療保健機関の専門管理職、など

教育目標

- 修得すべき知識
 - ①公衆衛生大学院教育の国際標準（米国CEPH）の5領域（生物統計学、環境保健学、疫学、社会行動科学、保健医療管理学）に関する専門知識
 - ②健康の決定要因に関する健康スポーツ科学、心理学、教育学等の学際的知識
- 修得すべき能力
 - ①健康問題を最先端の研究技法を用いて多角的・科学的に分析し、科学的根拠に基づく解決策を考案できる能力
 - ②公衆衛生実践の場において多職種連携して問題解決にあたる国際コミュニケーション能力とマネジメント能力

カリキュラム

- 専門基礎科目
ヒューマン・ケア科学基礎論、ヒューマン・ケア科学方法論、医生物統計学概論、環境保健学、疫学概論、健康行動科学論、医療経済学、ヘルスサービスリサーチ概論、国際保健学特論、保健社会学、健康増進学特講、スポーツ健康統計学特講、スポーツ心理学、スポーツ栄養学特講、など
- 専門科目
健康社会学演習、健康社会学特別研究、福祉医療学演習、福祉医療学特別研究、保健医療政策学演習、環境疫学演習、保健医療政策学特別研究、ヘルスサービスリサーチ演習、ヘルスサービスリサーチ特別研究、生活環境学演習、生活環境学特別研究、生涯健康学演習、生涯健康学特別研究、など

入学試験

- 応募要件 修士課程修了者、6年制学部卒業者（修了・卒業見込みを含む）
 - 募集人員 6名
 - 入試日程 平成29年8月下旬予定、筆記試験及び口述試験
- 詳細は、ヒューマン・ケア科学専攻および筑波大学のウェブサイトをご覧ください。

www.hcs.tsukuba.ac.jp

研究指導教員一覧（50音順）

市川 政雄 教授	博士(保健学)	国際保健学
樺田 尚樹 教授(連携*)	医学博士	生活環境学
近藤 正英 准教授	Ph.D.	医療経済学
武田 文 教授	保健学博士	健康社会学
田宮 菜奈子 教授	医学博士	ヘルスサービスリサーチ
本田 靖 教授	博士(医学)	環境保健学
柳 久子 准教授	医学博士	福祉医療学
横山 徹爾 教授(連携*)	博士(医学)	生涯健康学

* 国立保健医療科学院

(平成29年4月予定)